

## カナダの金融市場動向 Weekly Report

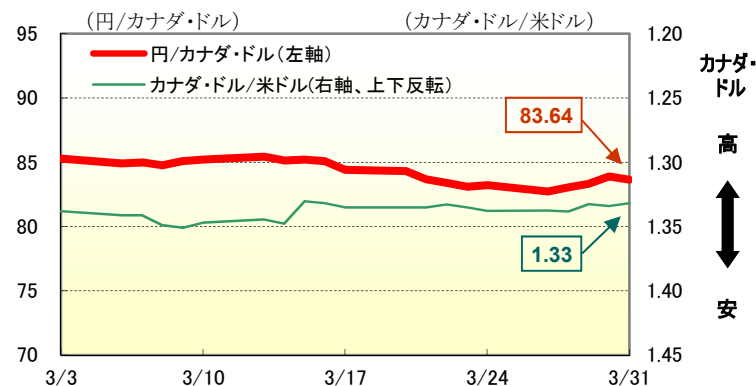
【2017年3月25日～2017年3月31日の推移】

### 【1】先週の回顧

先週のカナダ・ドル円相場は上昇する一方で、カナダ5年国債利回りはおおむね横ばいとなりました。

週初はトランプ大統領の政権運営に対する不透明感が引き続きすぶったことで、金利は低下し、カナダ・ドル円相場は下落しました。しかしその後は、米国の経済指標が堅調な結果となったことに加え、OPEC(石油輸出国機構)の減産合意が延長されるとの期待から原油価格が上昇したことで、金利は上昇し、カナダ・ドル円相場も上昇しました。また、カナダのGDP(国内総生産)が市場予想を上回る堅調な結果となったことも、カナダ・ドルの上昇を下支えしました。

【カナダ・ドル 為替推移】 (2017年3月3日～2017年3月31日)

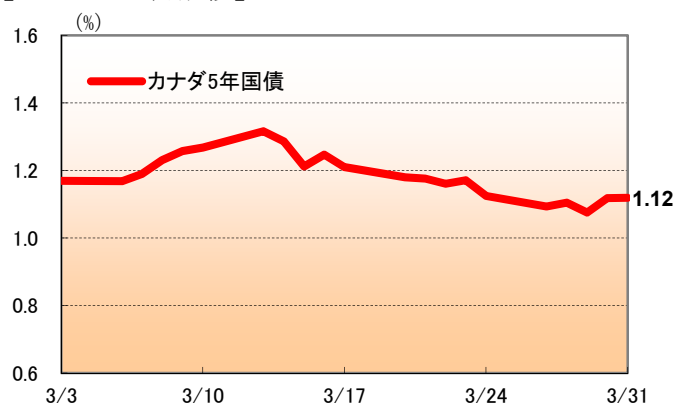


※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

### 【2】今週の見通し

今週は、米国、カナダの経済指標や米中首脳会談に注目が集まりそうです。米国では雇用統計、カナダでは雇用者数や貿易収支などが発表予定で、これらが堅調な結果となれば、金利およびカナダ・ドル円の上昇をサポートするとみられます。また、米中首脳会談において、米国の対中強硬姿勢の緩和が確認されれば、市場のセンチメント改善に寄与することも考えられます。今週も米国ではFRB(米連邦準備制度理事会)高官の講演が予定されており、今後の金融政策に関する発言にも注目です。

【カナダ 金利推移】 (2017年3月3日～2017年3月31日)



### 【3】主要経済指標

発表日	発表頻度	期間	指標名	データ
3/31	毎月	2017年1月	GDP(前月比)	0.6%
3/31	毎月	2017年1月	GDP(前年同月比)	2.3%
4/4	毎月	2017年2月	貿易収支(実額)	-
4/7	毎月	2017年3月	雇用者数(前月差)	-

(参考) 前回
0.3%
2.1%
8.1億カナダ・ドル
15.3千人

(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

#### 当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託フリーダイヤル0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>